

「マグロの謎、ギモンがいっぱい！」 (協力)

概要：三崎小学校の子どもたちが、東京大学北川准教授のマグロについての授業を受けた。

小学校5年
理科



実施内容

1. **実施校** 三浦市立三崎小学校
2. **目的** 東京大学、北川貴士准教授の話聞き、マグロに関する知識をさらに深め、海に対する関心を高める。
3. **内容** 北川先生のマグロに関する授業を受ける。その中で、前回の授業でまとめた疑問や質問を投げかけ、知識を深める。
4. **日時** 平成28年 9月12日(火) 11:00~12:00
5. **場所** 三崎小学校 音楽室
6. **参加者** 三崎小学校児童、教員、研究所職員
7. **指導者** 東京大学 北川貴士准教授
8. **持ち物** 教科書、筆記用具

当日の様子

- 「1匹のマグロをお寿司にしたら何皿できる?」「元を取るにはいくらで売ればいい?」子どもたちにも身近な問いかけからマグロの授業が始まった。
- 子どもたちは、北川先生から、マグロの種類やマグロに関わる文学作品、漁獲量などの話を聞いた。
- 前回の授業での予想から大きく外れていたからか、北川先生から「卵の大きさは1mm」「ふ化の日数は1日」と聞き、子どもたちは驚いた表情だった。
- 「マグロはターンをする時、背びれの後ろに隠れているヒレを出すんです」という話に、子どもたちはマグロの動画をじっと見つめていた。